

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月14日

上場会社名	株式会社エーアイ	上場取引所	東
コード番号	4388 URL <a href="https://www.ai-j.jp">https://www.ai-j.jp</a>		
代表者	(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣飯 伸一		
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員経理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣	TEL	03 (6801) 8402
定時株主総会開催予定日	2024年6月20日	配当支払開始予定日	-
有価証券報告書提出予定日	2024年6月20日		
決算補足説明資料作成の有無	: 有		
決算説明会開催の有無	: 有 (機関投資家・アナリスト向け)		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	734	15.9	81	310.3	81	265.7	109	570.4
2023年3月期	633	△16.2	19	△82.3	22	△79.6	16	△80.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	22.18	-	8.8	5.3	11.1
2023年3月期	3.28	-	1.3	1.6	3.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △73百万円 2023年3月期 -百万円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。  
 2. 2023年3月期の持分法投資損益については、関連会社を有していないため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,710	1,300	76.1	262.89
2023年3月期	1,393	1,191	85.5	240.72

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,300百万円 2023年3月期 1,191百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	169	△1,036	90	575
2023年3月期	18	△5	44	1,236

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	-	-	-	-			

(注) 当社は、2024年10月1日付けで株式会社フュートレックとの合併を予定していることから、2025年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定としております。

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	430	43.5	0	-	0	-	0	-	0.00

（注）本日付の「株式会社エーアイと株式会社フュートレックの合併契約締結に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社は2024年5月14日開催の取締役会において、2024年10月1日（予定）を効力発生日として両社の合併を決議し、当社を吸収合併存続会社、株式会社フュートレックを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」）に係る合併契約を締結いたしました。本合併は、両社の株主総会（当社では2024年6月20日の開催予定）の承認を前提としておりますが、本合併の影響を現時点で正確に算定することが困難であることから、2025年3月期の業績予想につきましては、現時点で未定としております。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	5,168,000株	2023年3月期	5,168,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	220,069株	2023年3月期	220,069株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	4,947,931株	2023年3月期	4,990,077株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(持分法損益等) .....	10
(損益計算書関係) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行したことを受けて各種制限撤廃が進み、アフターコロナと言われる新たな局面を迎えました。観光分野を中心とした社会経済活動の回復がみられる一方で、ウクライナ情勢、中東情勢をはじめとした世界情勢の不安定化、急激な為替変動を背景に、諸物価全般の上昇や円安が進展し、さらには出生率の激減や人手不足、政治の混乱等、先行きの不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境においては、新しい市場として、オーディオブック分野が拡大している状況にあります。また、当社は、引き続き、音声合成エンジンの品質向上に努めており、自然で豊かな表現が可能となった新エンジンAITalk6をリリースしました。

法人向け製品においては、防災分野及びロイヤリティ収入が堅調に推移したことに加え、オーディオブック向け音声コンテンツの受託案件が寄与し、対前年同期比で売上が増加、法人向けサービスにおいては、コエステ株式会社の吸収合併によるシナジー効果が寄与し、対前年同期比で売上が増加しました。また、コンシューマー向け製品においては、AITalk6を用いたA. I. VOICE 2をリリースしたことが寄与し、対前年同期比で売上が増加、その結果、売上高全体としては前事業年度を上回る結果となりました。

利益面においては、利益率の高い法人向け製品と法人向けサービスの売上が大きく増加したことに加え、一般管理費を抑制したこと等により、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてにおいて、前事業年度を大幅に上回る結果となりました。

そのほか、当事業年度においては、Cerence社との協業において日本車メーカーでの採用に向けた取り組みや、生成AIを用いた法人向けチャットアシスタントサービスのリリースと拡販に向けた取り組みを行っております。また、当事業年度において行った株式会社フュートレック（以下、フュートレック）の株式取得により、当社の音声合成事業とフュートレックの音声認識事業とのシナジーを生むべく新サービスの開発に取り組んでおります。フュートレックとは、2024年1月16日付で経営統合に向けた基本合意を行い、2024年5月14日付で、2024年10月1日（予定）を効力発生日として当社を存続会社とする吸収合併契約を締結しております。

今後は、外国語製品の販売を強化するとともに、経営統合により音声合成周辺技術を含めたトータルな音声ソリューションの提供を目指してまいります。

当事業年度の音声合成事業の売上高は、法人向け製品が337,107千円（前年同期比20.2%増）、法人向けサービスが226,195千円（同19.0%増）、コンシューマー向け製品が171,672千円（同5.1%増）と推移した結果、当事業年度の売上高は734,975千円（同15.9%増）、営業利益は81,596千円（同310.3%増）、経常利益は81,960千円（同265.7%増）、当期純利益は109,725千円（同570.4%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は701,842千円となり、前事業年度末に比べ657,389千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が661,597千円減少したことによるものであります。固定資産は1,005,162千円となり、前事業年度末に比べ970,882千円増加いたしました。これは主に関係会社株式が926,328千円増加したことによるものであります。繰延資産は3,041千円となり、前事業年度末に比べ3,041千円増加いたしました。これは社債発行費が3,041千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、1,710,046千円となり、前事業年度末に比べ316,533千円増加いたしました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は303,616千円となり、前事業年度末に比べ102,554千円増加いたしました。これは主に契約負債が54,375千円増加、未払金が31,898千円増加、1年内償還予定の社債が30,000千円増加、未払費用が19,159千円増加したことによるものであります。一方で短期借入金は40,000千円減少いたしました。固定負債は105,645千円となり、前事業年度末に比べ104,253千円増加いたしました。これは主に社債が105,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、409,261千円となり、前事業年度末に比べ206,807千円増加いたしました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は1,300,784千円となり、前事業年度末に比べ109,725千円増加いたしました。これは、利益剰余金が109,725千円増加したことによるものです。なお、減資により資本金が51,481千円減少し、資本剰余金が51,481千円増加しております。

この結果、自己資本比率は76.1%（前事業年度末は85.5%）となりました。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前事業年度末と比較して661,597千円減少し、575,198千円となりました。これは主に、税引前当期純利益106,385千円、社債の発行により146,607千円、合併に伴い114,556千円増加したものの、関係会社株式の取得による支出が1,069,428千円等あったことによるものです。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、169,608千円（前事業年度は18,158千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益が106,385千円、減価償却費が11,587千円、契約負債の増加額49,512千円、未払金の増加額23,740千円、投資有価証券売却益39,845千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,036,598千円（前事業年度は5,214千円の支出）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出1,069,428千円、投資有価証券の売却による収入39,952千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は90,835千円（前事業年度は44,375千円の収入）となりました。これは主に、社債の発行による収入146,607千円、短期借入金の純減少額40,000千円、社債の償還による支出15,000千円等によるものであります。

### （4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、インバウンド需要の期待感がある一方で、諸物価全般の上昇等コスト増加もあり、経営環境は依然として楽観視できない状況がしばらく続くものと考えております。

このような環境の中、法人向け製品においては、主力製品であります「AITalk® 声の職人®」、「AITalk® 声プラス®」に加え、コエステ株式会社との合併により新たにラインナップとなった「coestation®」のクラウドサービス、「Custom Voice」を拡大してまいります。また、引き続きCerence社、iFLYTEK社との協業を強化するとともに、「ChatGPT」等の周辺技術を用いた法人利用可能な対話AIサービスの構築を進めてまいります。コンシューマー向け製品においては、「A. I. VOICE2」の新キャラクターのリリースを行うとともに、グッズ等の拡販を行い、IP事業の拡大に注力してまいります。

なお、当社は本日2024年5月14日開催の取締役会において、2024年10月1日（予定）を効力発生日として当社と株式会社フュートレック（以下「フュートレック」）の合併を決議し、当社を吸収合併存続会社、フュートレックを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」）に係る合併契約を締結いたしました。

このような状況を踏まえ、翌事業年度（2025年3月期）の業績予想につきましては、本合併の影響を現時点で正確に算定することが困難であることから、未定としております。

また、配当予想につきましても、業績予想等の算定を行った上で、配当性向等を総合的に勘案し決定する予定であることから現時点で未定としております。

なお、今後、予想値の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,236,795	575,198
売掛金	79,337	89,692
商品及び製品	5,754	6,223
仕掛品	1,388	10,030
原材料及び貯蔵品	1,355	837
前払費用	11,995	20,337
未収還付法人税等	7,030	2
その他	15,574	50
貸倒引当金	-	△529
流動資産合計	1,359,232	701,842
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	12,276	12,276
減価償却累計額	△5,499	△6,234
建物附属設備（純額）	6,777	6,042
工具、器具及び備品	25,819	27,089
減価償却累計額	△20,994	△23,459
工具、器具及び備品（純額）	4,824	3,630
リース資産	3,197	3,197
減価償却累計額	△1,439	△2,078
リース資産（純額）	1,758	1,119
有形固定資産合計	13,361	10,792
無形固定資産		
ソフトウェア	8,167	43,571
無形固定資産合計	8,167	43,571
投資その他の資産		
投資有価証券	2,460	-
関係会社株式	-	926,328
長期前払費用	151	5,618
繰延税金資産	116	3,909
その他	10,022	14,942
投資その他の資産合計	12,751	950,798
固定資産合計	34,280	1,005,162
繰延資産		
社債発行費	-	3,041
繰延資産合計	-	3,041
資産合計	1,393,512	1,710,046

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,606	12,153
短期借入金	150,000	110,000
1年内償還予定の社債	-	30,000
リース債務	717	746
未払金	12,875	44,774
未払費用	5,676	24,835
未払法人税等	1,866	265
契約負債	18,469	72,845
預り金	5,849	7,995
流動負債合計	201,061	303,616
固定負債		
社債	-	105,000
リース債務	1,392	645
固定負債合計	1,392	105,645
負債合計	202,453	409,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	151,481	100,000
資本剰余金		
資本準備金	121,280	121,280
その他資本剰余金	84,855	136,337
資本剰余金合計	206,135	257,617
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,120,508	1,230,234
利益剰余金合計	1,120,508	1,230,234
自己株式	△287,067	△287,067
株主資本合計	1,191,058	1,300,784
純資産合計	1,191,058	1,300,784
負債純資産合計	1,393,512	1,710,046

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高		
製品売上高	443,908	508,780
サービス収入	190,090	226,195
売上高合計	633,998	734,975
売上原価	158,581	221,071
売上総利益	475,417	513,904
販売費及び一般管理費	※1,※2 455,529	※1,※2 432,307
営業利益	19,887	81,596
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	5
為替差益	590	-
講演料収入	106	36
補助金収入	3,300	1,267
業務受託料	-	695
その他	118	158
営業外収益合計	4,125	2,162
営業外費用		
支払利息	102	1,379
為替差損	-	67
社債発行費償却	-	350
事務所移転費用	1,384	-
その他	116	-
営業外費用合計	1,603	1,798
経常利益	22,409	81,960
特別利益		
投資有価証券売却益	-	39,845
特別利益合計	-	39,845
特別損失		
固定資産除却損	※3 113	※3 0
抱合せ株式消滅差損	-	13,066
投資有価証券評価損	-	2,353
特別損失合計	113	15,420
税引前当期純利益	22,295	106,385
法人税、住民税及び事業税	5,193	452
法人税等調整額	734	△3,793
法人税等合計	5,927	△3,340
当期純利益	16,367	109,725



## 売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	842	0.3	517	0.2
II 労務費		158,804	62.2	186,992	63.7
III 経費		95,608	37.5	106,118	36.1
当期総製造費用		255,255	100.0	293,629	100.0
期首仕掛品棚卸高	※2	1,530		1,388	
合計		256,785		295,018	
他勘定振替高		101,860		80,502	
期末仕掛品棚卸高		1,388		10,030	
期首商品及び製品棚卸高		5,361		5,754	
当期商品及び製品仕入高		5,437		17,055	
期末商品及び製品棚卸高		5,754		6,223	
当期売上原価		158,581		221,071	

## 原価計算の方法

実際原価による個別原価計算であります。

(注) ※1 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
減価償却費 (千円)	3,152	6,770
外注加工費 (千円)	16,593	17,378
地代家賃 (千円)	9,027	7,549
業務委託費 (千円)	18,330	6,417
支払ロイヤリティ (千円)	20,016	23,256
支払手数料 (千円)	24,334	39,659

※2 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
研究開発費 (千円)	92,788	65,593
営業支援費 (千円)	9,043	7,627
調査研究費 (千円)	—	5,105
その他 (千円)	27	2,176
合計 (千円)	101,860	80,502

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本									純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余 金合計			
					固定資産 圧縮 積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	151,481	121,280	84,855	206,135	69	1,121,739	1,121,808	△199,820	1,279,605	1,279,605
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の 取崩					△69	69	-		-	-
剰余金の配当						△17,667	△17,667		△17,667	△17,667
自己株式の取得								△87,246	△87,246	△87,246
当期純利益						16,367	16,367		16,367	16,367
当期変動額合計	-	-	-	-	△69	△1,230	△1,300	△87,246	△88,546	△88,546
当期末残高	151,481	121,280	84,855	206,135	-	1,120,508	1,120,508	△287,067	1,191,058	1,191,058

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本								純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余 金合計				
					繰越利益 剰余金					
当期首残高	151,481	121,280	84,855	206,135	1,120,508	1,120,508	△287,067	1,191,058	1,191,058	
当期変動額										
減資	△51,481		51,481	51,481					-	-
当期純利益					109,725	109,725		109,725	109,725	
当期変動額合計	△51,481	-	51,481	51,481	109,725	109,725	-	109,725	109,725	
当期末残高	100,000	121,280	136,337	257,617	1,230,234	1,230,234	△287,067	1,300,784	1,300,784	

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	22,295	106,385
減価償却費	9,336	11,587
貸倒引当金の増減額（△は減少）	-	529
受取利息及び受取配当金	△10	△5
支払利息	102	1,379
投資有価証券売却損益（△は益）	-	△39,845
投資有価証券評価損益（△は益）	-	2,353
抱合せ株式消滅差損益（△は益）	-	13,066
固定資産除却損	113	0
売上債権の増減額（△は増加）	13,628	△2,701
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,256	△8,593
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,948	6,547
未払金の増減額（△は減少）	△15,771	23,740
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	△1,925	△379
契約負債の増減額（△は減少）	14,175	49,512
前受収益の増減額（△は減少）	△14,291	-
長期前受収益の増減額（△は減少）	△530	-
補助金収入	3,300	1,267
その他の増減額（△は減少）	△8,731	943
小計	20,998	165,788
利息及び配当金の受取額	10	5
利息の支払額	△102	△1,370
法人税等の支払額	△12,160	△787
法人税等の還付額	9,412	5,972
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,158	169,608
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社株式の取得による支出	-	△1,069,428
投資有価証券の売却による収入	-	39,952
有形固定資産の取得による支出	△1,376	△1,371
無形固定資産の取得による支出	△3,838	△572
敷金及び保証金の差入による支出	-	△6,098
敷金及び保証金の回収による収入	-	921
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,214	△1,036,598
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	150,000	△40,000
社債の発行による収入	-	146,607
社債の償還による支出	-	△15,000
自己株式の取得による支出	△87,246	-
リース債務の返済による支出	△689	△717
配当金の支払額	△17,688	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,375	90,835
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	57,319	△776,153
現金及び現金同等物の期首残高	1,179,476	1,236,795
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	114,556
現金及び現金同等物の期末残高	1,236,795	575,198

- (5) 財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	－千円	926,328千円
持分法を適用した場合の投資の金額	－千円	864,931千円

  

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	－千円	△73,274千円

(注) 前事業年度については、関連会社がないため該当事項はありません。

(損益計算書関係)

- ※1 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度37.9%、当事業年度43.0%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度62.1%、当事業年度57.0%であります。  
 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
役員報酬	53,295千円	34,215千円
給料及び手当	104,973	118,748
研究開発費	94,950	65,593
減価償却費	6,183	4,816
支払手数料	40,594	49,646

- ※2 一般管理費に含まれる研究開発費の総額

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	94,950千円	65,593千円

- ※3 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
工具、器具及び備品	113千円	0千円
計	113	0

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	法人向け製品	法人向けサービス	コンシューマー向け 製品	合計
外部顧客への売上高	280,545	190,090	163,362	633,998

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社NTTドコモ	108,046	音声合成事業

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	法人向け製品	法人向けサービス	コンシューマー向け 製品	合計
外部顧客への売上高	337,107	226,195	171,672	734,975

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
株式会社NTTドコモ	95,267	音声合成事業

## （1株当たり情報）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
1株当たり純資産額	240.72円	262.89円
1株当たり当期純利益	3.28円	22.18円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
1株当たり当期純利益		
当期純利益（千円）	16,367	109,725
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	16,367	109,725
普通株式の期中平均株式数（千株）	4,990	4,947

## （重要な後発事象）

## （会社の合併）

当社及び株式会社フュートレック（以下「フュートレック」）は、2024年5月14日開催の取締役会において、2024年10月1日（予定）を効力発生日として両社の合併を決議し、当社を吸収合併存続会社、フュートレックを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本合併」）に係る合併契約を締結いたしました。

なお、本合併は、両社の株主総会の承認を条件としております。

## 1. 企業結合の目的

当社とフュートレックは、両社のこれまでの事業活動の成果である、顧客基盤や競争優位性のある技術・ソリューションを両社で共有し、「音声合成」及び「音声認識」双方に強みを持つことにより、音声関連技術を保有する研究開発企業として、国内の新たなトップランナーを目指してまいります。また、フュートレックのもう一つの中核事業であるCRM事業を中心としたデジタルマーケティング事業と音声関連技術事業の2つを事業の両輪として、企業価値の更なる向上を図ってまいります。加えて、経営統合によって企業規模の拡大が図られ、より強固な経営基盤の確立や管理部門の統合による経営機能のスリム化により収益力の向上の実現を目指してまいります。

## 2. 企業結合日

2024年10月1日（予定）

## 3. 吸収合併消滅会社の名称及び事業の内容

吸収合併消滅会社の名称 株式会社フュートレック

事業の内容 音声認識技術を利用したサービスの企画・提案、及びそれを実現するためのシステム設計  
デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等

## 4. 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、フュートレックを吸収合併消滅会社とする吸収合併

## 5. 結合企業の名称

株式会社エーアイ

（英文表記：AI, Inc.）

## 6. 企業結合に係る割当ての内容

## (1) 株式の種類別の合併比率

フュートレックの普通株式1株に対して、エーアイの株式0.33株を割当て交付いたします。

## (2) 合併比率の算定方法

本合併比率の公正性・妥当性を期すために、両社がそれぞれ別個に独立した第三者算定機関に合併比率の算定を依頼することとし、当社は監査法人FRIQを起用し、フュートレックは株式会社クリフィックスFASを起用いたしました。

当社及びフュートレックは、各社の第三者算定機関による算定結果及び法務アドバイザーの助言を参考に、かつ、両社それぞれが相手方に対して実施したデューデリジェンスの結果等を踏まえて、それぞれが両社の財務状況、資産状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案した上で、両社間で合併比率について慎重に交渉・協議を重ねた結果、最終的に本合併比率が妥当であるとの判断に至り、本合併契約を締結いたしました。

## 7. 引き継ぐ資産・負債の額

現時点で確定しておりません。

## 8. 合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 名称	株式会社エーアイ	株式会社フュートレック
(2) 所在地	東京都文京区西片一丁目15番15号	大阪市淀川区西中島六丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 廣飯 伸一	代表取締役社長 西田 明弘
(4) 事業内容	音声合成エンジン及び音声合成に関連するソリューションの提供	音声認識技術を利用したサービスの企画・提案、及びそれを実現するためのシステム設計 デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等
(5) 資本金	100,000千円	100,000千円
(6) 設立年月日	2003年4月1日	2000年4月17日
(7) 発行済株式数	5,168,000株	9,504,200株
(8) 決算期	3月31日	3月31日
(9) 従業員数	単体65名	単体68名 連結91名

## 9. 合併の時期

取締役会決議日（両社）	2024年5月14日（本日）
契約締結日（両社）	2024年5月14日（本日）
株主総会基準日（両社）	2024年3月31日
株主総会決議日（フュートレック）	2024年6月18日（予定）
株主総会決議日（当社）	2024年6月20日（予定）
最終売買日（フュートレック）	2024年9月26日（予定）
上場廃止日（フュートレック）	2024年9月27日（予定）
合併の効力発生日	2024年10月1日（予定）

## 10. 合併後の状況

	吸収合併存続会社
(1) 名称	株式会社エーアイ
(2) 所在地	東京都文京区西片一丁目15番15号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 廣飯 伸一 (現 エーアイ 代表取締役社長)
(4) 取締役の氏名	取締役（監査等委員である取締役を除く。） 廣飯 伸一 小川 遼 井上 将志 深田 俊明 長尾 章（社外取締役） 監査等委員である取締役 栗原 学（社外取締役） 杉山 浩（社外取締役） 金丸 祐子（社外取締役）
(5) 事業内容	音声関連技術の研究開発及び関連するサービス・ソリューションの企画・提供 デジタルマーケティングソリューションの提供、及びそれに伴うシステム設計等
(6) 資本金	現時点で確定しておりません。
(7) 決算期	3月
(8) 純資産	現時点で確定しておりません。
(9) 総資産	現時点で確定しておりません。

## 11. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点で確定しておりません。